

令和6年度都立昭和高校における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・行事において短歌コンテストの開催 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究に向けたプレゼンテーション・コンテストの実施 ・大学等主催の小論文コンテストへの応募推奨 ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地歴	探究的活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が説明する機会を設ける授業 ・夏季休業中レポート課題の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で生徒による発表 ・定期考査における論述問題の実施
公民	「探究の過程」を重視する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が説明・発表する機会を設ける授業 ・夏季休業中レポート課題の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を深め・改善しようとする態度の育む授業の実施
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的な見方、考え方の醸成 ・数学的思考力醸成のための活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「探究の過程」を重視した実験レポート課題を作成する。 ・授業内に生徒に相互に説明させる機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内に生徒に全体に向けて発表させる機会を設定する。 ・定期考査に論述問題を出題する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共習授業の充実 ・健康課題を主体的に解決する能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・班ノートや個人カードを活用した授業の取り組み ・科内でICTを活用した授業研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って、考察を深めたり、他者との関わりを多く持たせる授業の実施 ・他教科授業の相互参観を実施
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動の基礎的能力の定着、創造力や表現力の伸長。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽：楽典学習により音楽を理論的にも捉え、実技に繋げると共に、個人指導・鑑賞も重視する。 ・美術：様々な表現技法を実施すると共に、自発的、意欲的に授業に取り組めるよう工夫する。 ・書道：書写での学習を基盤として、古典の臨書学習からさらに表現と鑑賞の能力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽：グループワークと発表活動を充実させ、意欲や表現力の育成、自己肯定能力の向上を図る。 ・美術：毎授業時に具体的な目標を提示し、その中で自分なりの目標を定め制作できるようにする。 ・書道：行事の思い出を作品化、発表・展示するなどし、意欲的な表現活動に導く。
英語	4技能5領域の総合的な英語力の定着と英語発信力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト、週課題による基礎基本の徹底 ・ペアワーク、グループワークを多く取り入れ「学びあい」による学習 ・リテリングやディスカッション、プレゼンを通じた英語発信機会の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・各レッスンの題材に関する記事、映像、動画などを活用した英語発信機会の充実 ・国際交流時や海外短期研修における実践 ・JETによるEnglish Circleでの実践 ・英語スピーチコンテストでの実践
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題解決」につなげる実習の充実 ・教科に関わる生徒の進路実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の問題点を科学的にとらえ解決策を見出せる教材の開発 ・生活科学系の入学試験の小論文の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・開発した教材での文化祭での教科発表
情報	情報と情報技術及びこれらを活用して情報社会と人との関わりについての理解を深める	問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う